

以前に作成した題名の冊子を見ていただいた方から、多くの意見をいただきました。

自然災害が暮らしと深い関係を知ることができ、これまではなんとなく他人ごとのように見ていたが間近にリスクがあることに気がついたとか、命を守るには、これまでの経験をベースに正しい知識と備えが大事で関心を持ち続けることが不可欠であることを再認識したというようなものでした。

天災は忘れぬうちにやって来るという言葉がありますが、最近は忘れぬうちに自然災害との出会いが多くなってきています。2011年の東日本大震災から10年以上が過ぎて、余震も減衰していくのかと思ったら、2022.3.16には震度が6強というような夜中の大きな揺れで飛び起きました。自然災害は地震だけではなく、台風や豪雨、強風といったことでの被害に気をつけなければならないのは、この日本列島に暮らしているかぎり宿命です。災害への対応は、先ずは自分自身が関心を持つようにすることだと思います。そうすることで、災害発生時の不安、焦燥感などが和らいで後悔しない判断が、特にこの情報時代だからこそ必要なことです。

- 【い】 命あっての物種、何よりも自助を大切に
- 【ろ】 ローリングストックとソーシャルスタンスはいまや、くらしの安全保障
- 【は】 ハート(こころ)の整備で自立した防災を学ぶ
- 【に】 二次災害は知恵と工夫と機転がかなめ
- 【ほ】 北上しているものはな～に
- 【へ】 備西風という風神様のふるまい
- 【と】 飛んで火に入る夏の虫
- 【ち】 沖積平野は瑞穂の里だが地の下に災害の素がある
- 【り】 リスクはいつも同じでない、増えていないか気をつけよう
- 【ぬ】 抜け(弱点)を見つけて入り込む禍神
- 【る】 流説とはいえ無視できない言い伝え
- 【を】 終わりのない災害への備え、新型災害、複合災害の登場
- 【わ】 私たちはいつも正常性バイパスというものが働きます
- 【か】 かめ、うめ、さくらの素性を知ると・・・
- 【よ】 呼び方を変えども、三つ子の魂は百までも
- 【た】 対岸の火事もいずれはわが身、不幸から学ぶ
- 【れ】 歴史が教えてくれていることを活かすには
- 【そ】 備えるものは量より使うものだが、忘れていけないのは日ごろのおつきあい
- 【つ】 次なることに備えて、周りの変化に気をつけよう
- 【ね】 ネーミングの裏に何がある
- 【な】 何のために、何をどうつなぐかが地域防災の基本
- 【ら】 来年のことをいうと鬼が笑う、いつ来るかわからないことをいったら鬼はどうする
- 【む】 昔の人の防災は観天望気の観察力
- 【う】 雨水は方円の器に従う、邪魔されずに早く海にいきたいのに
- 【み】 防災は一朝一夕にはいかない 日常化、風化防止を
- 【の】 のどもと過ぎるまえに熱さを忘れない？
- 【お】 大雨の降り方には、一発屋と執念深いのとがある
- 【く】 暮らして災害は恋仲でもないのにみちづれに
- 【や】 8つのチェックで一安心、水害時の避難のための備えと注意
- 【ま】 満砂になると砂防堰堤の役割が終わり？
- 【け】 警報はいい迷惑としっかりキャッチすることが大事

- 【ふ】 ふたごの兄弟、地震と断層
- 【こ】 洪水と水害は違います
- 【え】 選ぶ、選ばれるには理由があり、旧家と神社は守られる
- 【て】 “てんでんこ”には助かる、助けるための4つの教えあり
- 【あ】 あなたを守るハザードマップは文殊さま
- 【さ】 災害対応の中身を知っておくと役に立つ
- 【き】 帰宅困難者は他人事でない、いつどうなるのかはわからない
- 【ゆ】 ゆれる地震には力では勝てない、作戦は？
- 【め】 免じて欲しい面的被害
- 【み】 水はどこから来るのでしょうか、あの山越えて、野を越えて(内水氾濫)
- 【し】 情報は正しい知識で取舍選択
- 【ゑ】 液状化は起きてびっくり
- 【ひ】 被災した自分を想像すると見えるものは……
- 【も】 森が健康だと土砂災害も少なくなる
- 【せ】 扇状地の出自を知っておくと付き合いやすい
- 【す】 水害が多くなってきているのにはわけがある
- 【京】 今日の暮らしを見直す勇氣